

【出張型健康講座】提案書記載依頼事項

記載項目	記載依頼事項
運営体制について	貴社の定款、会社概要、経営理念等をご記載ください。（会社概要等の資料があれば添付してください。） ①年間の健康講座事業の契約受注実績 ②健康講座事業の年間実施回数（過去5年間） ③専属の専門職の職種、職種別人数 ④外部講師や再委託先の連携体制 ⑤貴社のPRポイント（300字以内）
施設・設備・運営等について	2 プライバシーマークまたはISMSを取得していますか。（はい・いいえ）
	3 仕様書に定める提出物（申込者リスト、実施計画書、実施報告書等）は発注者の要請があれば、適宜提出が可能ですか。（はい・いいえ）
	4 業務の実施にあたりトラブルが生じた場合の対応や連絡・報告体制について示してください。 例①急遽、派遣講師が出席できない場合 例②使用機材等の不具合が生じた場合 例③天候・災害で開催が困難な場合（※発注者の判断により健康講座を中止した場合の対応は、仕様書6（12）に記載のとおりです）
	5 講師やスタッフが商品等の勧誘・販売・不当な償還を行わないよう教育指導、違反した場合の罰則規定を設けていますか。（はい・いいえ）
	健康教育の内容について
7 仕様書において、健康講座の企画にあたっては「受講者の自主的な行動変容につながるセルフケア及び生活習慣病予防について、受講者自らが体験できる参加型の内容を盛り込むこと」としております。参加型の内容とするために使用する教材や機器等の媒体があれば、具体的にご記載ください。（現在検討中のものでも可）	
8 メンタルヘルス、生活習慣病予防、その他（肩こり・腰痛改善、フレイル予防、歯科等）のテーマについて、それぞれ1講座ずつ、貴社の特色を活かした提案書を別添「テーマ別健康講座提案書」の様式で提出してください。	
講師について	講師の力量によって講座内容に差がないように、以下の取組みを実施していますか。 ①共通の実施マニュアルや教材を作成していますか（はい・いいえ） ②内部で研修を実施していますか（はい・いいえ） 可能であれば、従事講師一覧（専門資格、講義回数等）及び研修計画を示してください。
健康教育の客観的評価の実施について	10 講座終了後、受講者からのアンケート調査などの評価を実施していますか。（はい・いいえ）
	11 アンケート結果や受講者及び発注者の意見をもとに、改善に取り組んでいますか。（はい・いいえ）
	12 健康教育に関する研究や質の向上のための最新の情報収集をしていますか。（はい・いいえ）

テーマ別健康講座提案書

テーマ	講座名	運営		講座のねらい	講座の内容	利用媒体
<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルス ・生活習慣病予防 ・その他（腰痛・肩こり改善、フレイル予防・歯科等） 	テーマに合った講座名を記載	時間	60分（変更不可）	講座のねらいやアピールポイント等を記載	具体的な講座内容、当日の流れ、手法を記載 ※最も伝えたい内容は下線	パワーポイント等講座に利用する学習教材等の媒体を記載
		人数	40名程度（原則変更不可。人数制限が必要な講座については、理由と合わせて記載してください）			
		受講形式	講義・グループワーク・実技等を記載			
		参加者の持ち物	参加者が準備するものを記載（なければ無と記載）			
		講師	職種名と従事人数を記載			
テーマ	講座名	運営		講座のねらい	講座の内容	利用媒体
メンタルヘルス		時間	60分			
		人数	40名程度			
		受講形式				
		参加者の持ち物				
		講師				

テーマ	講座名	運営		講座のねらい	講座の内容	利用媒体
生活習慣病予防		時間	60分			
		人数	40名程度			
		受講形式				
		参加者の持ち物				
		講師				
テーマ	講座名	運営		講座のねらい	講座の内容	利用媒体
その他（肩こり・腰痛改善、フレイル予防、歯科等）		時間	60分			
		人数	40名程度			
		受講形式				
		参加者の持ち物				
		講師				